

国際シンポジウム

医薬品・医療機器をめぐる

日独諸制度の比較

近年のビックデータやAI等の技術展開にともない、医薬品開発・医療機器開発のスタイルも、洋の東西を問わず大きな変革を遂げようとしています。そこで本シンポジウムでは、そのような変化を目前に控えた現在の日本・ドイツ両国間における法制度・法状況を多角的に比較することで異同・長短を明らかにし、今を見つめつつ次の時代へとつながるあり方を考えてみようと思います。

■日時

2019年3月21日(木・祝) 10:50 ~ 19:00

■場所：明治大学御茶ノ水キャンパス

10:50 ~ 17:20 シンポジウム (申込不要・参加費無料)
グローバルフロント 1階 グローバルホール

17:30 ~ 19:00 レセプション (事前申込制)
グローバルフロント 17階 グローバルラウンジ

1st session

「医薬品・医療機器に関する制度概要」

アウクスブルク大学 Ulrich M. Gassner

明治大学法学部 小西知世

2nd session

「医薬品の規制をめぐる制度」

Merck KGaA Elmar Hörner

※Merck KGaAはMSDとは異なる会社です。

塩野義製薬株式会社 花輪正明

3rd session

総合討論

指定発言者 厚生労働省政策参与 武田俊彦

シンポジウム終了後に開催いたしますレセプションに参加される方は以下のアドレスまでご連絡下さい。
メール：elm.sympo@gmail.com 締切り：3月9日(金) レセプション参加費：2000円

《明治大学法学部ELMとは》

ELM(エルム)とは医事法と生命倫理に関する国内外の新旧さまざまな資料を取り扱う専門総合資料館です。
2015年4月に開館し、現在では図書約17000冊、文書系資料約70000点を所蔵しています。

明治大学 ELM <http://www.kisc.meiji.ac.jp/~elmmeiji/index.html>

◇◇5月中旬より遠隔地文献複写を開始予定